



2年学年だより

発行日：令和4年2月28日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 10

令和3年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 11 期生適性検査、南高校 69 期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和3年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和3年度も残りひと月、よろしくお願ひいたします。

自分の足で踏み出そう！

3年学年主任 蛭田 真生

中学校生活も終盤を迎え、日々のいろいろな場面で8期生の良さが表れています。朝、クラスから響く笑い声、廊下ですれ違うときの元気なあいさつと笑顔、授業中に互いに教え合ったり、授業後も熱心に議論したりする姿、休み時間の和気あいあいとした雰囲気、などなど……。コロナ禍で続く閉塞感を吹き飛ばすような、みんなの明るくひたむきな姿に、私も毎日たくさんの元気をもらっています。

4月からはよいよ高校生ですね。新しい仲間、新しい先生、たくさんの「新しいこと」が待っていることでしょう。環境が変わるとき、それは自分自身が成長する大きなチャンスです！みんなには、ぜひ、新しいことがやってくるのを待つのではなく、自ら飛び込んでいく！という気持ちで行動して行ってほしいと思っています。自分の足で登ってみなければ、見ることのできない景色があります。“失敗”もまた素晴らしい経験になるでしょう。高校進学まであと1か月。飛躍のための助走期間として、いますべきことに全力で取り組んでいきましょう！

温かなつながりの中で

2年学年主任 福田 由美

「ありがとうございます」その一瞬のたたずまいの中に、9期生の成長を感じる事がたびたびあります。温かな笑顔に、「こちらこそありがとう」という温かな気持ちになります。追いかけてきた先輩たちから学んだのでしょうか。または頼ってくれる後輩の存在がきっかけでしょうか。これまでの無邪気な明るさだけでなく、「思いを言葉に、行動に」という9期生が自分たちで立てた目標の姿に一歩ずつ近づいているように思います。今年も生活の中に様々な制限がありましたが、その中でも友だちと関われるチャンスを最大限に生かして、ともに成長してきました。

そんな中で、「うまくいかないなあ」と感じる時もあったかもしれません。さなぎの時ですね。何も動いていないように見えるさなぎの中は、大きく変化しているそうです。うまくいかないと感じる時も、次に進むために必要な準備の段階なのです。さなぎから孵化する時も誰かが必ず見守っていますので安心してください。温かなつながりの中で、9期生が心優しく、思いやり深く成長している様子を心から嬉しく思います。

感謝の気持ちを大切に

1年学年主任 朝比奈 康江

北京オリンピックが閉幕しました。令和3年度は、夏の東京オリンピックに続き、冬季オリンピックも行われた異例の年となりました。今回も、観ている私たちに勇気をくれる多くの感動的なドラマが生まれました。アスリートの皆さんが、どのような場面でも最後まで諦めず、常に自分を支えてくれた人々に感謝をし、競い合った相手をリスペクトする姿勢が印象に残っています。

今年度、みなさんは新しい環境で多くの体験をしました。楽しかったこと、達成感を得られたことはもちろんあったと思いますが、一方で思い通りにいかなかったこともあったのではないのでしょうか。でも、あとから振り返ったとき、あの出来事もこの経験もすべてが自分の成長の糧となっていることに気づくでしょう。そしてそこには常に誰かの支えがあったはず。これからも、日常のささいなことの中に、感謝と他の人を尊重する気持ちを持ち続けて、すこやかに成長して行ってほしいと思います。

各教科の授業の様子

9期生の学年の先生が担当している授業の様子について、教科系の代表生徒の報告です。

【国語科】

2022年に入ってから、国語の学習では「平家物語」に登場する人物のプレゼンテーションと「君は『最後の晚餐』を知っているか」の論理の展開についての読み取りをしています。「平家物語」の学習では自分の立場や考えが明確になるよう根拠の適切さや論理の展開などに注意し、話の構成を工夫する力を、「最後の晚餐～」の学習では文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える力を身に付けました。この2つの学習は「話す・聞く」の観点と「読む」の観点であり一見無関係に見えますが、「論理の展開」という点でとても深くつながっています。来年度のEGG卒業論文につなげられるよう、残り一か月も積み重ねを続けていきたいです。

【社会科】

僕たち社会科系は、毎回の授業の前で地図とスクリーン出しをしています。授業で使うものを授業前に準備するため、その日の授業の時間割を把握する自己管理能力や素早い行動を習慣化できたため、総合的に人間として成長できました。残り一か月の目標は、授業前の準備の継続と学びのプランやニュース調べといった提出物を前日ではなく2、3日前にし、未提出者を減らす取り組みをしていきたいと思います。

地理の授業では、地域に隠された工業や農業の特徴の背景を考えることができるようになりました。残り一か月の授業も集中して受けたいです。

【理科】

地学では、主に気候や気圧について学習しました。上がったたり下がったりする気圧に翻弄されました。生物では主に人体の消化器官について学習しました。ペプシンやらトリプシンやらあり大変でした。化学では主に化学反応などについて学びました。アルファベットでよくわからなかったです。物理では主に電磁力について学びました。手がもっとほしいと思いました。これらのことから大澤先生はかっこいいと思いました。あと1か月がんばります。

【数学科】

数学系では、他の教科系と同じように、授業前後の号令を行っています。また完成ノートや休業中の課題の提出の呼びかけと回収、提出も行っていきます。

授業内では、生徒同士が教え合い、学び合うことを通じて、表現力や思考力を身につけています。数学の得手不得手にかかわらず、だれもが問題に積極的に取り組んでいます。残り1か月、係としてより積極的に発言できる雰囲気づくりに努めていきたいと思います。

【英語科】

英語の授業では、日常のことについてクラスメートと英語で話したり、教科書の内容について、ストーリーを読んだり、相手に伝えたりすることを行っています。現在は「リテリング」を行っていて、ピクチャーシートを見せながらストーリーについてパートナーに伝えることをしています。これまでに習ったセンテンスや語彙を使って、内容をふくらませられるよう頑張りたいと思います。

【保健体育科】

体育では、陸上競技、ネット型競技、球技・柔道をしました。また保健では熱中症、オリンピック、事故の防止、救命について学習しました。授業を通して安全に気を付けて運動をすること、次へスムーズにつなげるために早めの準備をする習慣がついたと思います。残り1か月、早く準備する、積極的に活動することを心掛けていきたいです。

保体、頑張りほーたい！

道徳リレー

12月から「道徳リレー」と題して、2年生担当の7人の先生で、道徳の授業を担当しました。先生方がそれぞれに授業を用意し、4クラスで実施したので、計7回シリーズとなりました。

そのうちの一つ、「どうしたらいい？心が苦しくなったとき」の授業について、詳しくお伝えします。

【授業展開】

①黒板に、一人1つのハートマークを書いてもらう。

黒板にハートがあふれ、教室が温かい雰囲気になりました。

②「心が苦しくなった時、あなたはどうしますか？」

- ・好きな音楽を聴く ・寝る ・食べる ・誰かに話す
- ・笑って忘れる ・ゲームする ・叫ぶ

③グループトーク

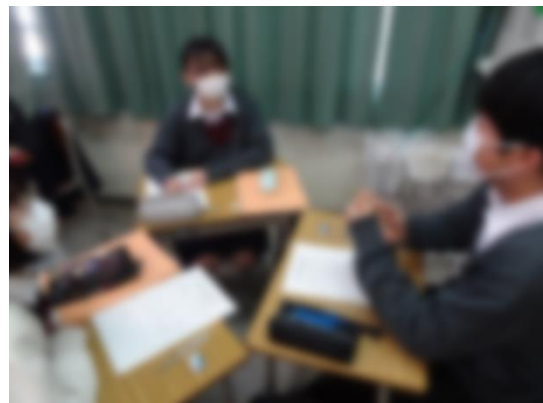
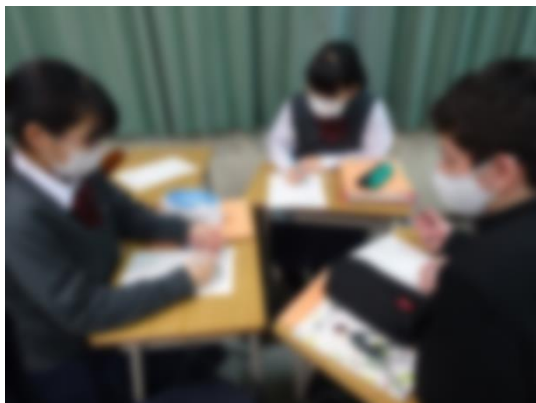
- ・②について、3人組か4人組で意見交換しました。

④ロールプレイ「誰にでも心が苦しい時があるから」

	授業名
福田先生	「わたしの偏愛マップ」
酒井先生	「希望名人ゲーテ×絶望名人カフカ」
深谷先生	「理想＝現実へ ～私の 2022 目標マンダラート～」
小川先生	「心の境界線」
大澤先生	「13歳のハローワーク」
青木先生	「どうしたらいい？心が苦しくなったとき」
井上先生	「話し上手は、聞き上手」

【活動を振り返って】

- ・心が苦しくなったときは人に頼ることも大切だということを学ぶことができた。
- ・仲の良い友達以外はこういうことはあまり話さなかったもので、相手がどのようにして対処を知ることができてよかった。
- ・自分と同じようなことをしている人が多くいて、自分の行動は間違えていなかったんだと思えました。
- ・心が苦しくなった時は、どうしても一人で抱え込んでしまいがちな部分があったが、周りの人の助けを借りて乗り越えるのも一つの道だと気づいた。
- ・自分が助けるときは、少しでも人に寄り添えるようになりたい。
- ・みんな苦しくなる時があつて、それを乗り越えるやり方はたくさんあることがわかった。
- ・中学生になっていろいろなことを悩んだけれど、家族に話してからは「私って思いこんだり、完璧主義だったり、自分で自分にプレッシャーをかけているのかも」ととらえられるようになった。



如月の福袋

逃げるように日にちが飛んでいく2月。今のクラスに登校するのもあと15日。やり残しや、心残りのことはないかな？1日1日を惜しみつつ、たくさんの「ありがとう」を送りあおう。ともに歩んだ級友へ。